

## 【別紙様式3】

## 再評価実施事業調書

番号	3	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		一般国道409号 茂原一宮道路		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成12年度	用地着手年度	平成13年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成14年度 令和13年度	再評価の理由		再々々評価	
費用便益比 B/C	1.2 (5.5)	総費用	298億円 (43億円)	総便益	357億円 (238億円)	基準年	令和7年度	供用開始年度	令和14年度

※上段：全体事業 下段（）：残事業

## 【事業概要】

茂原一宮道路（長生グリーンライン）は、高規格道路「茂原・一宮・大原道路」を構成しており、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

本事業の茂原一宮道路は、圏央道の茂原長南ICと接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る約7.2kmを整備区間としている。平成25年の圏央道の開通にあわせ、一般国道409号の千田交差点から茂原長南ICまで約0.7km、令和2年に茂原長南ICから長南町坂本の町道利根里線まで約1.5km、令和6年3月に町道利根里線から茂原市台田の県道茂原大多喜線まで約2.5kmの供用を開始しており、現在、残る市道1-10号線（広域農道）までの約2.5kmの区間の整備を進めている。さらに令和5年度には、広域農道から県道南総一宮線間をⅡ期区間として事業化されたところである。

- ・総事業費：215.1億円
- ・事業延長：L=7.2km

## 【事業の進捗状況】（令和7年度末見込み）

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	215.1	165.2	49.9	76.8

## 【社会経済情勢等】

- ・一般国道409号の現道では、R3道路交通センサスの混雑度が1.2を超える区間があり、一般国道128号、一般国道409号の旅行速度は千葉県の千葉県平均の27.3km/hを下回る区間が散見される。また、現道の一般国道128号と一般国道409号が交差する（仮称）昭和橋北交差点が主要渋滞箇所に特定されている。
- ・一般国道128号、一般国道409号のR1～R4の死傷事故率は、千葉県平均の41.0件/億台キロを上回る区間が見受けられる。また、現道区間の事故類型をみると、渋滞が要因の一つである追突事故の割合が約5割を占め、千葉県の一般道平均よりも約1割高い。

## 【対応方針（案）】

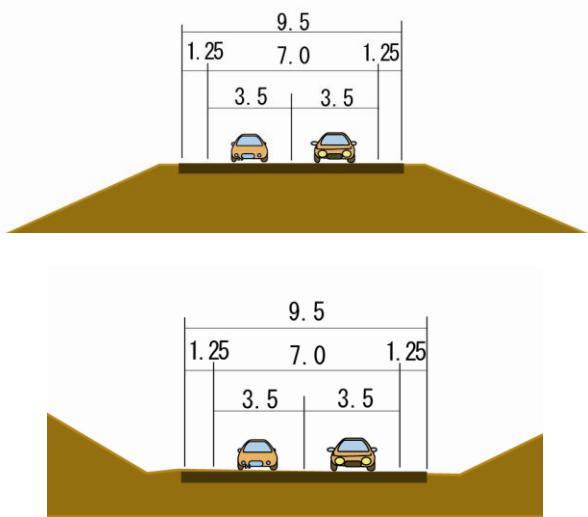
継続

費用便益比(B/C)は事業全体が1.2、残事業費が5.5であることから、費用対効果が見込まれる。長生地域における整備効果として、救急医療活動の支援の強化、緊急輸送道路ネットワークの強化、防災機能の強化のほか、交通の転換による渋滞緩和及び走行時間短縮、交通事故の減少などが期待される。

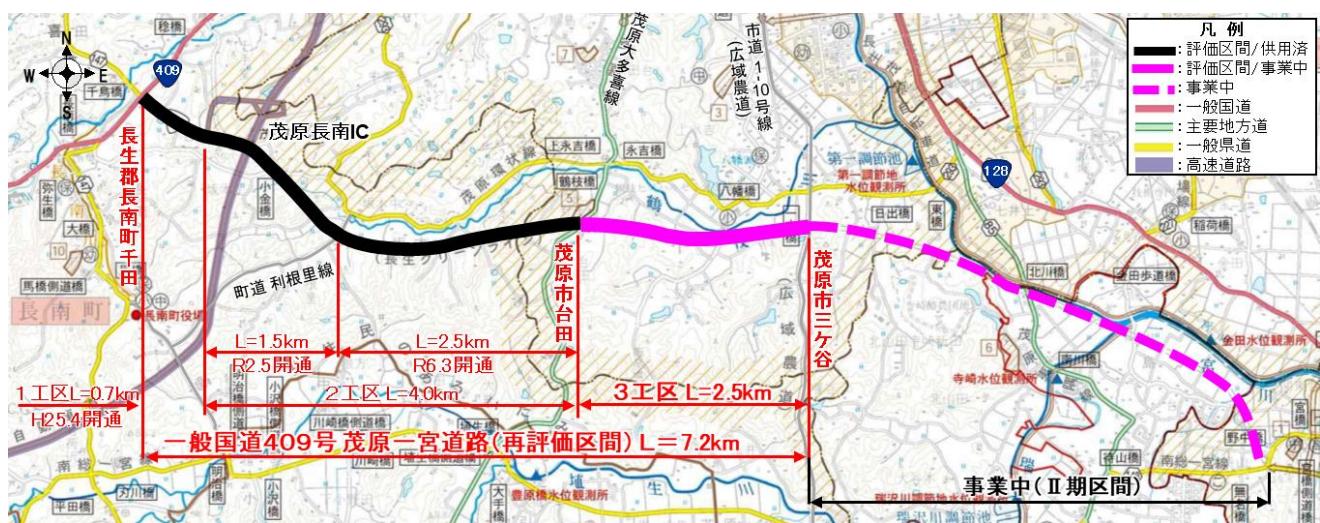
事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

【別紙様式4】

事業概要図

番号	3	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	一般国道409号 茂原一宮道路
位置図			標準横断図		
 <div style="position: absolute; left: 345px; top: 345px; border: 1px solid red; padding: 2px;">         一般国道409号 茂原一宮道路       </div>					

平面図



【別紙様式5】

## 再々評価事業に関する調書

番号	3	事業名	国道道路改築事業	路線又は箇所名等	一般国道409号 茂原一宮道路
事業化年度	平成12年度	用地着手年度	平成13年度	工事着手年度	平成14年度

### 【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和4年度	供用開始年度	令和9年度	対応方針	継続
B/C	1.4 (5.5)	総費用	225億円 (36億円)	総便益	311億円 (197億円)

※上段：全体事業 下段（）：残事業

再々評価時の委員会の意見及び当時の状況

- ・継続することが妥当である。

再々評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計画	進捗状況(R04末見込み)	5年後の想定進捗状況
全体事業費	173.2億円	140.3億円(81%)	173.2億円(100%)
用地取得面積	346,655m <sup>2</sup>	300,090m <sup>2</sup> (87%)	346,655m <sup>2</sup> (100%)
供用面積(延長)	7.2km	---	---

### 【再々々評価(R07年度)の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和7年度	供用開始年度	令和13年度	対応方針	継続
B/C	1.2 (5.5)	総費用	298億円 (43億円)	総便益	357億円 (238億円)

※上段：全体事業 下段（）：残事業

現在の進捗状況

	計画	進捗状況(令和7年度末)
全体事業費	215.1億円	165.2億円(77%)
用地取得面積	369,481m <sup>2</sup>	343,948m <sup>2</sup> (93%)
供用面積(延長)	7.2km	---

再評価後の経過  
及び  
処理状況

- ・令和7年度 再々々評価（継続が妥当である）
- ・引き続き、事業の早期完了を目指す